

館古町内会の皆さん長年ご苦勞様でした 道々花壇の整備事業を今年度で終了

館古町内会（小松孝夫会長）で、11月6日（金）に会員19名が参加し、道々花壇の花を撤去し、20年程続いた花壇の整備事業を終了しました。

町内会では、毎年、道々管理者（函館建設管理部）より花の供給を受け、植え付け、草取り（お盆・お祭り前）、撤去を行い、町内会の環境整備事業として、これまで実施してきました。

しかし、近年は高齢化がすすみ参加者が減少したことや地区の花壇整備箇所が長く、除草作業の苦勞が多いことが重なり、町内会の総会で本事業の終了が決定されておりました。

道行く人を楽しませてくれた花壇の今後については、他の町内会や町及び道々管理者と相談することとしております。

町内会の皆さんには、ご協力をいただいたことに感謝を申し上げます。



▲花の撤去作業をしていた館古町内会の皆さん

町議会定例会

（11月会議）

平成27年度町議会定例会11月会議は、11月16日（月）に開催され、議案2件が審議され原案どおり可決されました。

主な内容は、次のとおりです。

▼条例の改正▲

○福島町職員定数条例の一部改正について

公的年金制度の改正に伴う再任用制度への対応のため、職員定数を現行の79名から87名に変更するため条例の一部改正をしました。

▼補正予算▲

○平成27年度福島町一般会計補正予算（第8号）

総額で97万5千円を追加し、歳入歳出それぞれ40億6千470万2千円となりました。

▼福島町副町長の紹介▲



氏名 **高木 壽**（65歳）
たかぎ ひさし

就任にあたり一言ご挨拶申し上げます。

この度、町議会のご同意をいただき、鳴海町長から副町長に任命されました。

鳴海町政が船出したこの重要な時期に大役を仰せつかり、身の引き締まる思いでございます。

地方の課題は多く、当町も人口減少・少子高齢化などの課題はありますが、これは全国共通であり、発想を転換し福島の潜在力の高さを積極的に出していく時だと思えます。

たとえば、若人が学校卒業後に町を出たとしても、「町外に福島町を応援してくれる方がおられる、キャリアを積んで帰ってきてくださる」という考え方もできます。

私が着任した10月下旬は、杉の深緑と紅葉のコントラストが他に類のないほど美し

く、松前町への旧国道からの眺望は息を呑むほどの素晴らしさで、全道でもトップクラスのパノラマロードになると確信しました。

また、先日の町民文化祭で見せていただいた松前神楽では、舞のレベルの高さに感動すると共に、神楽の内容等について、隣席の方々から親切しさに感激するなど、数週間、自然・歴史・伝統文化・食・人情など、福島町が持つたくさんの方に触れることができました。

こうした町の宝とそれを活かす施策は既に着手済みで、鳴海町政の「次世代を担うリーダー等の育成」など5本の柱を盛り込んだ町の総合計画が間もなく固まります。

計画の実現に向け微力ではございますが、鳴海町長の下で、職員一丸となって、福島町まちづくり基本条例の理念である「協働によるまちづくり」を、誠心誠意努める所存でございます。

町民の皆様におかれましては、ご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。